

トピックス **ぶらす**

11/22~23

多彩な作品が勢ぞろい

市内を拠点に活動する劇団、彫刻家、写真家などが一堂に集い作品を展示する「アートフェスティバル登米」が11月22・23日の両日、登米祝祭劇場で開催されました。これは県の青年育成事業「M・Y-Dream (マイドリーム)」登米地区第3期生が企画したもので、彫刻のライトアップや写真の展示など、多くのイベントが行われました。



▲数多くの作品が集まったアートフェスティバル

11/23

伸びのある声で唄の競演

古くから歌い継がれ、婚礼の席に欠かせない「長持唄」の全国1位を競う「第8回みやぎ長持唄全国大会」(同実行員会主催)が11月23日、南方公民館で開催されました。大会には県内をはじめ、栃木や神奈川、広島県などから約100人が参加。それぞれが自慢の伸びのある歌声や節回しを披露し、訪れた観客からは盛大な拍手が送られていました。



▲全国各地から集まった参加者が自慢の歌声を披露

11/29

レクダンスの輪で輝きを

今年で9回目を迎えるレクダンス・サークル交流会(同実行委員会主催)が11月29日、中田総合体育館で開催され、市内で活動している16サークルの関係者など、40歳から80歳までの市民約370人が参加しました。交流会では参加者全員で5曲を踊った後、7つのグループに分かれ、演歌や歌謡曲などの音楽に合わせてダンスを披露しました。



▲音楽に合わせて息の合ったダンスを踊る参加者

12/14

文化・スポーツクラブはさまが設立

地域住民の皆さんに気軽に運動に親しむ機会を提供し、生涯スポーツの振興と健康づくりを目的に「文化・スポーツクラブはさま」の設立総会が12月14日、迫体育館で開催され、初代会長に佐藤砂登史さん(迫)が選出されました。総会では、アトラクションとして森風輝龍太鼓が披露され、新田婦人会からの温かい「はっと」は大人気でした。



▲設立までの経緯などについての話をする佐藤会長

素敵な音色で観衆を魅了

中田で「なかだ音楽祭」

第17回なかだ音楽祭(なかだ音楽祭実行委員会、市教育委員会中田事務所主催)が11月23日、中田農村環境改善センターで開催されました。この音楽祭は町域内の音楽愛好者(団体)が一堂に会し発表することによって感動を分かち合うとともに、音楽を通して地域文化の向上を図ることを目的に開催されています。当日は幼稚園児から一般まで17団体が出演し、会場には約870人の観客が集まりました。来場した皆さんは、さまざまな団体による素晴らしい歌や演奏に聞き入っていました。



▲会場には子どもたちの素敵な歌声が響き渡りました



▲よさこいの音楽に合わせて、そろいの法被を着て踊る在京者

ふるさとの味や芸能を楽しむ

東京いしこし会総会・交流会

第15回東京いしこし会総会・交流会が11月29日、東天紅上野店(東京都台東区)を会場に開催され、石越出身の在京者ら約100人が参加しました。総会後の交流会では、いしこし会嬉によるよさこいや、石越民謡同好会の郷土民謡などが披露され、参加者は楽しいひとときを過ごしました。会場内では石越の地酒「澤乃泉」を酌み交わされたり、昔話や近況などを話す姿などがあちらこちらで見られたほか、石越産の食材を使った農産加工品販売コーナーは故郷の味を買い求める人でにぎわいました。

1 豊里で地区駅伝競走大会 本のタスキをつないで

第22回豊里地区駅伝競走大会(豊里地区体育協会・豊里公民館主催)が12月7日に町内コースで開催され、友人や学校の部活動仲間などに地区内外からのオープン参加も含め、11チームが6区間15.7kmで競い合いました。時折小雪が舞う肌寒い天候ではありましたが、競技に参加した選手の皆さんは沿道からの声援を受けてタスキをつなぎ、竹花チームが見事2連覇を達成しました。大会終了後には、豊里婦人会で作った豚汁や青年会によるコーヒーが、走り終えた選手や会場の皆さんに振る舞われました。



▲各チームごとにタスキをつなぎ、優勝目指して力走しました